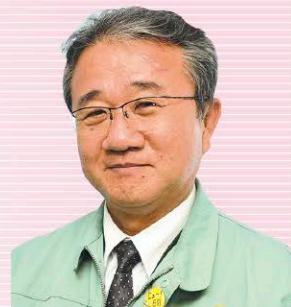




## 「よのなか先生」と子どもたちへのメッセージ

日向市産業経済部 部長 清水 邦彦



私が小学生の頃、登下校の通学路で大規模な国道改良工事が行われていました。ヘルメットをかぶり、額の汗をぬぐいながら、岩を砕く削岩機やスコップを握って働く人、大型バックホウやダンプカーが行き交い、工事が着々と進捗していく現場を身近に見ながら、ワクワクしたことを覚えています。

子供心にも「物を造る」という仕事の手順とおもしろさを知り、「仕事感」や「働く」という概念を育み、そのことが、土木工学を学び、今の技術吏員として公務員という仕事を選ぶことに繋がったのだと思っています。今、キャリア教育を通して、子供達に働くことの目的や楽しさについて、気づきを促し、「どうイメージさせるのか」、その難しさを実感しながら「よのなか先生」にチャレンジしています。

## 「3,000gの重さ」を体感して

日向市社会福祉協議会 日向市老人福祉センター 指導員 細山田 恵美子



私が子どもたちに「命の大切さ」について話しをする時、最初に、人間と動物の生まれた時の違いについて語りかけます。私は、平成3年から市の母子保健推進員として活動を始め、現在も赤ちゃん訪問員として活動をさせていただいております。子どもたちに、出生時と同じ体重の赤ちゃん人形を抱っこしてもらい、命の重さを感じてもらっています。

体感後に、「命」とは「あなたたちに与えられた時間であること」を話し、最後に、「見て 聴いて 感じて 考えて 伝えていきましょう。」と生涯を通しての言葉を贈っています。

大人が「生まれてきてくれてありがとう。」と思っていることを、「生まれてきて良かった。」と子どもたちが感じて笑顔で過ごせるよう願っています

## 「共に成長する教育」

旭化成(株)日向事務所 課長 神谷 講平



「よのなか先生」がスタートして、私も数回教壇に立たせてもらった。キャリア教育に関しては、肩書もなにもない自分が、果たして将来のある子供たちに「夢と希望」を持つような語りができるのか、半信半疑の気持ちでこの活動に関わって行った。しかし、いざ、子供たちを前に、今の自分をさらけ出し、人生を語り始めた時、子供たちが真剣に耳を傾け、興味を持って聞いてくれている姿に感動を覚えた。両親でもない、学校の先生でもない、赤の他人である私の話を「興味津々」に聞いてくれる。子供目線で同じ年代を語る時、いつしか楽しくそしてこの活動が面白く感じ始めた。子供たちの成長を期待しながらも、気が付けば自分が成長している姿を実感した。「よのなか先生」になって子供たちの前で話をする機会に出会えたことで自分が変化した。キャリア教育とは「人と人とを」変える力があるのかもしれない。なにも難しく語る必要はない、社会の先輩として、「生き方のコツ」を教え子供たちが一人でも、「そんな大人になりたい」と感じてくれれば達成感を味わう事になると思う。人として養う大事な心として「感謝の心」「尊敬の心」「挨拶の心」の3つを今後も伝えて行きたい。

## 「よのなか教室」に参加して

日向市社会福祉協議会 日知屋児童センター 主任児童厚生員 柏田 佳代子



登録のご依頼があった際は大変恐縮しましたが、水永センター長や富山先生の、「日向市の子どもたちに夢を持たせたい」という熱意に感動と共感を覚え、微力ながらご協力させていただいております。今では、背伸びせずに働く大人として等身大の自分をお伝えしようと思うようになりました。そのなかで、自分自身はもちろん所属する日向市社会福祉協議会、日知屋児童センターの役割や、あるべき姿が明確になっていくのを実感しています。また、よのなか教室に参加させていただくたびに、各学校の先生方の子どもたちに対する熱い思いを沸々と感じます。このような環境で育った子どもたちが将来社会に貢献し、日向市をより一層盛り上げてくれることを期待して止みません。

このような素晴らしい取組に参加させていただけることに感謝しております。





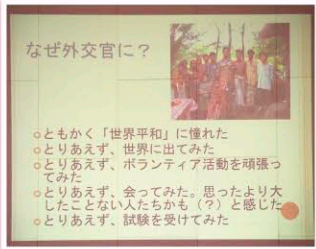
美々津中学校・東郷学園

グローバル特別「よのなか教室」

2月9日(木) 午前中  
美々津中学校 全学年69名

在アルゼンチン日本国大使館外交官の進藤弘騎さんを講師にお迎えし、グローバル特別「よのなか教室」を行いました。

進藤さんは、宮崎市出身で平成22年に外務省に入省し、スペイン、ホンジュラスの大使館勤務を経て、アルゼンチン大使館に御勤務されておられます。



お話では、外交官の仕事について、なぜ外交官になろうとしたのか、中学・高校・大学時代のことなど、ユーモアを交え丁寧に述べられました。



2月9日(木) 午後  
東郷学園 6.8.9年生 67名

特に、これからのことで、やるべきことをしっかり考えて行動すること、“人生のファイティングポーズ”、人生は何回も挫折することはある、その時は”ファイティングポーズ”でまた頑張ろう、と人生の御示唆をいただきました。最後に、英語、スペイン語でメッセージ(力)をいただきました。

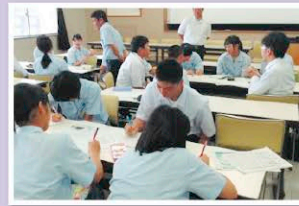


日向高校

探求テーマ課題型学習  
フロンティア科 1年38人



市の「元気な“日向市”未来創造戦略」の8つの分野(企業立地、農林水産業、観光、定住、教育、子育て、防災、まちづくり)から分野ごとにグループ分けをし、それぞれテーマを9月に決めて、この一年間、専門家



へのヒアリング、グループ独自の学習、研究活動を実施し、メンターとの協議などを重ねてきました。その研究、学習の成果をまとめ3月24日、十屋市長に「報告と提言」を行いました。



九州保健福祉大学との連携  
「よのなか教室」

第1回 5月13日(金)  
全校生徒

講師 坂佳代子さん(副学長)(元オリンピック女子体操選手)  
演題「信念は願望より強い」



第2回 10月17日(月)  
運動部活動生徒287名(1・2年生)  
部顧問35名が参加。

講師 神田潤一さん(バドミントン  
・ナショナルコーチ)  
演題 「スポーツ能力向上」



第3回 11月17日(木)  
科学トレーニング、身体能力とデータ化  
(男女ソフトボール部、バドミントン部)



よのなか先生  
研修会

第13回 よのなか先生  
研修会のおしらせ

■とき 平成29年5月22日(月)  
■ところ 喜重会館

- ①15:30~16:30 担当教職員研修会
  - ②16:40~18:00 キャリア教育意見情報交換会
  - ③18:00~19:00 よのなか先生研修会
  - ④19:00~21:00 「交流・懇親会」
- ※詳細は、別添のとおりです。ご出席のほどよろしくお願い致します。